第７３回　東海機能性材料研究会

―フラウンホーファーＦＥＰ（ドイツ）の最新パルススパッタ技術、パルスＰＥ－ＣＶＤ技術　および、これらの薄膜技術を応用したフレキシブルハイバリヤー膜の開発―

趣　旨：　ドイツには、基礎研究を目的にした Max-Planck Institute の他に、応用研究を目的にした Fraunhofer Institute が 56 カ所存在し、実用化を目指した応用研究を展開している。ドリスデンにある Fraunhofer FEP は電子ビーム・プラズマ技術に特化した応用研究を展開しており、その展開の中にフレキシブル材料へ機能薄膜を形成し、フレキシブルデバイスを実用化する開発研究が含まれている。この開発研究の中から、roll-to-roll コーティング装置、CoFlex600 というパイロットシステムが開発され、フレキシブルデバイス用ハイバリアー膜へ応用展開がはかられている。

今回のセミナーでは、Fraunhofer FEPのInternational Representativeとして機能薄膜の研究開発に参画しているDr. 鈴木巧一氏をお招きし、Fraunhofer Instituteでの共同研究の現状を紹介していただくと共に、Fraunhofer FEPで開発している「パルススパッタ技術、パルスPE-CVD技術」の特徴、これらの技術を応用した「フレキシブルハイバリアー膜」などの高機能性薄膜について解説していただく予定です。

皆様のご参加をお待ちいたします。セミナーの後は、講師を交えた懇親会を予定しています。

日　時：　平成２１年 2月5日（木）１４：００より 19：00 まで

場　所：　アクトシティー浜松、研修交流センター　51 研修交流室
浜松市中区板屋町１１１―１、Tel. 053-451-1111、Fax. 053-451-1123
（JR 浜松駅前）

スケジュール：

14:30-17:00　講　演
International Representative of Fraunhofer FEP
（株）サーフテックトランスナショナル　代表取締役社長
鈴　木　巧　一

１．欧州の実用化研究所について
２．フラウンホーファーＦＥＰの概要
３．ＦＥＰのパルススパッタ技術及び関連技術（最新パルス電源、プロセス制御装置含む）
４．ＦＥＰのパルスＰＥ－ＣＶＤ技術
５．フレキシブルデバイス用ハイバリヤー膜
６．新技術のアウトソーシング先としての欧州研究所の活用の仕方

17:00-19:00　懇親会

参加方法：
氏名、連絡先（住所、Tel 、Fax、 E-mail アドレス等）を明記して、Fax (053-454-2703) または E-mail (CBL06881@nifty.com)にて稲垣訓宏まで申込みください。

その他：セミナーに関する不明な点は、稲垣訓宏(Tel. & Fax 053-454-2703、　CBL06881@nifty.com）までお尋ねください。